

あ と が き

阿波学会も創設60周年の節目を迎え、また、同時に総合学術調査として徳島県下旧50市町村の全ての調査を終えました。そして、第2巡目の皮切りに『阿南市総合学術調査報告』をここに発行できますことは、偏に、阿波学会に情熱を傾け強い思い入れを持ち続けた先代からの弛みなきご努力と各研究者の崇高な探究心の賜と敬服申し上げる次第です。

さて、平成17年度より、本紀要編集委員長として石田啓祐先生がご尽力されてきたところですが、この度、阿波学会会長に就任されたことから、後任として副編集委員長でありました川添が担当することとなりました。細部にわたりの確かな指示を出して編集の指揮をなさっていた石田編集委員長の代役を果たして私が務められるか誠に心細いところではありますが、これまで通りの高いレベルを保持しつつ、これまでよりもさらに読みやすい阿波学会紀要を編集していく所存ですので、読者諸氏におかれましては今後ともよろしくお願い申し上げます。

編集委員長1年目の仕事が、栄えある60号ということで、偶然の巡り合わせとはいえ大きな不安を抱えた荷の重たい仕事になりました。しかし、各先生方から頂きました玉稿を編集していくうちにその不安も解消され、ここに素晴らしい紀要の完成を見るに至りました。この場をお借りしまして、各先生方のたゞならぬご尽力に感謝申し上げますとともに、編集委員長の至らなさから慌ただしいスケジュールになってしまいましたことを心よりお詫び申し上げます。今回から、2年の継続調査となりましたことから、従前の紀要と比べてなお一層内容もボリュームも充実いたしました。これまで短い期間での調査では難しかった通年にわたる観察研究や調査できなかった時期での研究内容など、数多くの発見が次々と発表されており今まで以上に濃密な内容となっています。また、60号という切りのよい号数でありますことから48号から続いておりました表紙デザインも一新し、60年という節目に相応しく、県南の海岸に打ち寄せる波のように躍動感溢れ、未来の阿波学会のさらなる発展をイメージしたデザインとしました。県民の皆様には、見た目にも内容もぐっと新しくなりました阿波学会紀要を引き続きご愛顧戴ければ幸甚に存じます。

末筆となりましたが、阿波学会紀要第60号作成に当たり多大なご協力とご支援を頂きました阿南市並びに阿南市民の皆様方に編集委員一同を代表いたしまして、心よりの感謝を申し上げますとともに、市勢の更なるご発展を祈念しております。

(川添 和義)

阿波学会紀要第60号『阿南市総合学術調査報告』編集委員

委員長 川添 和義

副委員長 中野 真弘 山本 裕史

委員 石尾 和仁 石田 啓祐 岡山真知子 小川 誠 喜多 順三

仙波 光明 高橋 晋一 長澤 寛二 羽山 久男 堀江 秀茂

萬宮千鶴子 和田 賢次